

神戸2010ビジョン

豊かさ創造都市こうべ をめざして

神戸市総合基本計画審議会
第3回重点施策計画検討部会 資料4
平成22年9月14日

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

検証・評価の概要

【目次】

■ 神戸2010ビジョンの概要	1頁
■ 神戸2010ビジョンの平成21年度検証・評価結果	2頁
■ 神戸2010ビジョンの具体的な取り組み	3頁
■ 12のアクションプラン別の取り組み状況	4～15頁
■ 「豊かさ創造都市こうべ」の全体的な指標の状況	16頁
■ 神戸2010ビジョンの目標達成見込と今後の課題	17頁



鉄人28号モニュメント

©光プロ/KOBE鉄人PROJECT 2010

神戸市
平成22年9月

神戸2010ビジョンの概要

神戸市では、震災や復興過程で得た経験や教訓を踏まえたこれからの神戸づくりの指針として、市民との協働と参画により、新たなビジョン（「神戸2010ビジョン」と「区中期計画」）を平成17年6月に策定しました。

この中で、「2010年の神戸の将来像：豊かさ創造都市こうべ」（下記体系図参照）を掲げ、民・学・産と行政の一体的な取り組みを進めるために共有するビジョンとして位置づけています。

この計画の特徴は、PDCAサイクルによる進行管理を行いながら、2010年（平成22年）を目標年次として、着実に計画を実施していくことにあります。

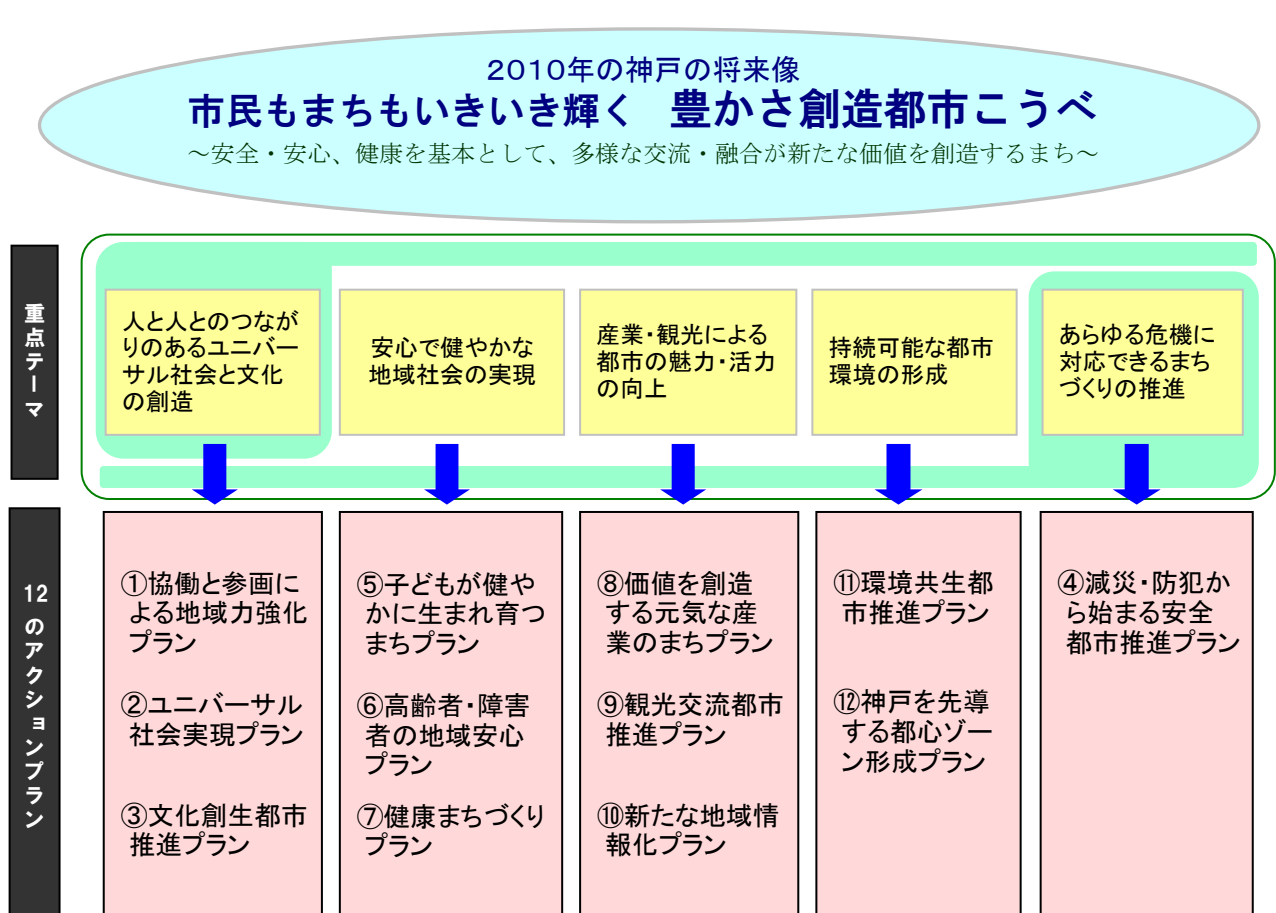
このたびの検証・評価は、第5回目となるもので、平成21年度の取り組みによる検証・評価に加え、平成22年度をもって神戸2010ビジョンの計画期間を終えることから、平成22年度末における目標達成見込みの確認と今後の課題について整理を行っています。

（ミニ解説）

「PDCAサイクル」・・・P：計画をたて（Plan）、D：実行し（Do）、C：その評価（Check）にもとづいて、A：改善（Action）を行う、という工程を継続的に繰り返す進行管理の考え方のこと。

○神戸2010ビジョンの体系図

神戸づくりの基本姿勢 「協働と参画のもとに、市民のくらしをまもる」



神戸2010ビジョンの平成21年度検証・評価結果

神戸市では、平成21年度に取り組んだ施策を対象に内部評価を実施しました。その内部評価に対して、外部委員会である「神戸2010ビジョン検証委員会」による検証を実施しました。

各アクションプランにおける重点事業の柱（49施策）のうち、A評価が31施策（前年度16施策）、残り18施策（前年度33施策）が全てB評価となり、A評価が6割を超えたことから、全体として概ね順調に進んでいます。

また、チャレンジ指標の達成度評価については、達成度評価「3」「4」「5」があわせて6割を超えています。

【目標達成状況】

目標達成状況		施策数									
		21年度評価		20年度評価		19年度評価		18年度評価		17年度評価	
目標達成に向けて順調	A	31	63%	16	33%	11	22%	7	14%	0	
" 概ね順調	B	18	37%	33	67%	37	76%	40	82%	45	92%
" あまり順調に推移していない	C	0		0		1	2%	2	4%	4	8%
" 不調	D	0		0		0		0		0	
合計		49	100%	49	100%	49	100%	49	100%	49	100%

※12のアクションプラン別の取り組み状況は4～15頁に記載しています。

【チャレンジ指標】

達成度評価	21年度評価		前年度比較による数値増減		
			▲	→	▼
5 (達成率100%以上)	24	31%	14	7	3
4 (" 75%以上)	13	17%	9	2	2
3 (" 50%以上)	11	14%	6		5
2 (" 25%以上)	5	7%	2		3
1 (" 25%未満)	24	31%	4	4	16
合計	77	100%	35	13	29

20年度評価		19年度評価		18年度評価		17年度評価	
23	30%	14	17%	8	11%	7	9%
16	21%	18	22%	8	11%	1	1%
8	11%	11	14%	13	17%	10	12%
9	12%	15	19%	14	18%	16	20%
20	26%	23	28%	33	43%	46	58%
76	100%	81	100%	76	100%	80	100%

(ミニ解説)

「神戸2010ビジョン検証委員会」・・・市が作成する神戸2010ビジョンの目標達成状況を外部の視点から検証及び助言等を行う委員会。市長の要請に基づき設置され、学識経験者8名で組織。

「目標達成状況」・・・各施策の重点事業及びチャレンジ指標の状況をふまえ、目標年次（2010年）に向けて、施策が順調に進んでいるかを総合的に評価したもの。

「チャレンジ指標」・・・アクションプランにおける各施策の成果を測るものさしとして、数値目標（2010年のともに目指そう値）を設定し、現時点の達成度を5段階で評価したもの。矢印は、前年度との数値増減。

神戸2010ビジョンの具体的な取り組み

神戸2010ビジョンの具体的な取り組みとして、次のようなものが挙げられます。

減災・防犯から始まる安全都市推進プラン
健康まちづくりプラン

新型インフルエンザ対策

⇒ 感染症早期探知地域連携システム(神戸モデル)などの枠組みの構築



©Valerio Festi/I&F Inc./Kobe Luminarie O.C

観光交流都市推進プラン

「行こう！神戸」キャンペーンや大規模イベントの実施

⇒ 観光入込客数3,000万人達成

観光交流都市推進プラン
環境共生都市推進プラン

市民との連携による
花壇やプランターへの飾花

⇒ 「美しいまち」の実現に向けた着実な取り組み



協働と参画による
取り組みの成果の
一部をご紹介します
ニャン



ワケニャン



環境共生都市推進プラン

家庭系ごみにおける新制度の導入

⇒ 市民一人1日あたりの
ごみ処理量(家庭系と事業系の合計)の大幅減
〔導入前1,107g(平成19年度)→導入後900g(平成21年度)〕

1 2のアクションプラン別の取り組み状況

1. 協働と参画による地域力強化プラン



目 標

市民と市がお互いの役割を尊重し、ともに課題解決に協力して取り組む関係を築き、市民と市による協働と参画のまちづくりに基づいて、市民の知恵と力が生きる個性豊かで魅力と活力にあふれた地域社会を実現します。

これまでの主な取り組み・成果

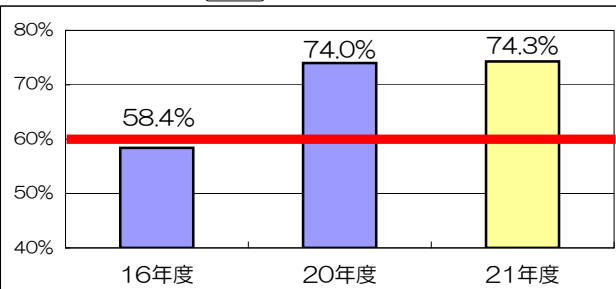
- 「住み続けたいまち」の実現や、「子ども・高齢者」「安全・安心」「地域コミュニティ」「環境・生活マナー」等に関する地域課題の解決を図るため、市と中央区の二宮地区との間で新たに「パートナーシップ協定」を締結しました。
- 地域のニーズに応じて弾力的に活用できる新たな地域支援制度（「地域活動統合助成金」）のモデル事業を北須磨団地地区で新たに開始しました。
- 地域団体の自主的な課題解決や魅力アップなど、まちづくり活動を一元的に支援するため、「地域担当制」を各区の特性に応じた形で全区に導入しました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) まちづくり活動の推進	B	B	B	B	B
(2) パートナーシップ関係の構築	A	B	B	B	B
(3) 市民の参画しやすい環境の整備	A	A	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

まちに「地域の行事」があると答える人の割合
：目標値 60% **達成**



NPOデータマップ登録団体数：目標値 325団体 **達成**
16年11月 202団体 → 21年度末 325団体

「あいさつをする近所の人」が10人以上いる人の割合
：目標値 55%
16年度 53.7% → 21年度 45.4%

「自治会活動などの地域活動に参加している」人の割合
：目標値 35%
16年度 33.8% → 21年度 28.7%



パートナーシップ協定（二宮地区）



地域活動プランづくり（北須磨団地地区）

2. ユニバーサル社会実現プラン



目 標

市のすべての事業にユニバーサルデザイン（以下、「UD」）の視点を取り入れるとともに、市民や事業者の取り組みを推進・支援しながら、UD先進都市として全国に発信することにより、年齢、性別、文化、身体状況など人々がもつ様々な違いを越えて、互いに人権を尊重しあい、すべての人が持てる力を発揮し支えあうユニバーサル社会の実現を図ります。

これまでの主な取り組み・成果

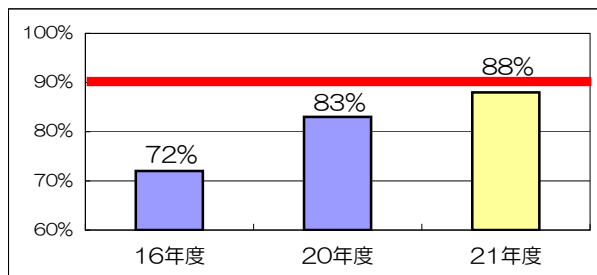
- こうべUD大学を修了したUDサポーターの皆さんが、市と協働でUD授業教材を作成し、小中学校や地域団体などの約2,700名に対して、UD出前授業を実施しました。
- 外国人市民の多い中央区の区役所窓口において、従来からの電話通訳システムに加え、同行通訳者の派遣をモデル実施しました。
- JR兵庫駅、阪神元町駅、高速新開地駅など6駅において、駅舎のバリアフリー化補助を実施しました。この結果、駅舎のエレベーター等整備率は88%に向上しました。
- 民間建築物等に対して、様々な人に配慮された「こうべ・だれでもトイレ」の整備を働きかけ、公共・民間をあわせて100施設以上の設置となりました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) 互いに人権を尊重し、一人ひとりを大切にする意識づくりを推進	B	B	B	B	B
(2) 誰もが参画できる仕組みづくりを推進	A	B	B	B	B
(3) 安全・安心で快適なまちづくりを推進	A	B	B	B	B
(4) 誰もが使えるものづくりを推進	B	B	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

市内駅舎のエレベーター等整備率(乗降客数5千人以上の駅)
：目標値 90%



UDサポーターの登録数：目標値 3,000人 **達成**
17年5月 85人 → 22年3月 3,138人

市が開催するイベントのUD度評価Aランクの割合
：目標値 100%
16年度 22% → 21年度 93%



UDサポーター出前授業



鉄道駅舎バリアフリー化補助
(神戸高速 新開地駅)

3. 文化創生都市推進プラン



目 標

震災復興の過程で生命の尊さを実感した市民が、個性ある生活スタイル（ライフスタイル）を主体的に創出するとともに、地域の魅力（文化力）をつなぎながら、生き生きとしたまちの賑わいや活力を次々と生み出していく、人間主体の「文化創生都市」をめざします。

これまでの主な取り組み・成果

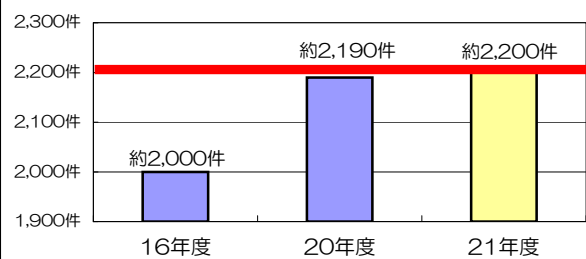
- 文化ホールでの様々な鑑賞型事業や区民センター等での市民参加型事業を展開したほか、開館日や利用時間の拡大など市民ニーズに応じた文化施設の運営を実施しました。また(仮称)北神区民センターの整備に着手しました。
- 小中学生を対象とした体験講座など、市民が文化芸術に出会う取り組みのほか、神戸ビエンナーレ2009(平成21年10～11月)の開催などを通じてアーティストやボランティアを発掘・育成する取り組みを幅広く実施しました。
- 「海外移住と文化の交流センター」(平成21年6月)やアニメーション神戸の成果としてアニメーション制作スタジオ「アニタス神戸」(平成22年3月)が開設されるなど、文化芸術を活かした産業振興や街の賑わいにつながる取り組みを展開しました。
- 第7回神戸国際フルーツコンクール(平成21年3～4月)の開催、ジャズ・映画などの各種イベントの実施、「デザイン都市・神戸」推進のための様々な事業の展開などにより、神戸らしい都市ブランドを国内外に発信しました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) 市民の文化活動の支援	B	B	B	B	B
(2) 文化に学び、芸術に磨かれるまちづくり	A	A	A	A	B
(3) 文化芸術を活かした産業や賑わいの創出	A	B	B	B	C
(4) 神戸らしい都市ブランドの創造・強化	A	A	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

文化的・歴史的イベントの数：目標値2,200件 **達成**



「日常的に文化活動を行っている人」の割合:目標値 30%
16年度 26.8% → 21年度 31.2% **達成**

アートプラットフォームの利用者数：目標値 400人
16年度 255人 → 21年度 383人



(仮称)北神区民センター完成予想図



神戸ビエンナーレ2009 アートイコノミア国際展

4. 減災・防犯から始まる安全都市推進プラン



目 標

市民のくらしや産業などの都市活動においては、安全が確保されていることが前提となります。過去の大水害や阪神・淡路大震災をはじめ、国内外で発生する災害や犯罪などの危機を教訓として、あらゆる危機から、生命など絶対に守らなければならないものはしっかり守りながら、被害を最小限に抑えるまちを実現します。

これまでの主な取り組み・成果

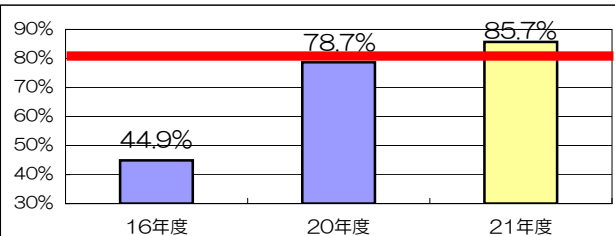
- 新型インフルエンザ対応の検証において、対応の総括と今後の対応に向けた提言が示されました。また、感染症等健康危機管理体制の強化・充実のために感染症早期探知地域連携システム（神戸モデル）などの枠組みを構築しました。
- 消費者被害の未然・拡大防止のための消費者への情報提供・啓発や、消費者問題の解決策を探る専門家(消費生活マスター)の育成等を推進しました。
- すまいの耐震化において、無料診断、改修や家具固定に対する補助制度に加え、キャンペーン期間での集中的な啓発をはじめとする普及啓発活動により、診断及び改修工事の件数がいずれも増加しました。
- 震災の経験と教訓を継承し、市民との協働によりつくり続ける公園として整備を進めた「神戸震災復興記念公園(愛称:みなとのもり公園)」がオープンし、今後の管理運営を話し合う「みなとのもり公園運営会議」が発足しました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) 長期的な視点に立った危機管理・防災戦略	A	A	B	B	B
(2) 地域の防災・防犯力の強化	A	B	B	B	B
(3) 危機管理・災害対応力の強化	A	A	A	A	B
(4) 災害に強い安全都市基盤の構築	B	B	B	C	B
(5) 被災による教訓の継承・発信	A	B	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

小中学校の耐震化率：目標値 80% **達成**



橋梁の耐震対策：目標値 24橋 橋脚105基
16年度 6橋 橋脚49基 → 21年度 23橋 橋脚103基

防災・防犯など安全・安心に関する地域活動に参加している市民の割合：目標値 30%
16年度 11.1% → 21年度 17.0%

防災福祉コミュニティの訓練等の実施回数
：目標値 573回/年 **達成**
17年度 339回/年 → 21年度 775回/年



すまいの耐震化
平成21年すまいの耐震キャンペーン



新型インフルエンザ対策
新型インフルエンザ対策本部員会議

5. 子どもが健やかに生まれ、育つまちプラン



目 標

子どもの利益が最大限尊重され、子どもが健やかに育まれるとともに、すべての人が安心して、ゆとりを持って子どもを産み育てることができるよう、子育て、子育てを社会全体で支えるまち神戸をめざします。

これまでの主な取り組み・成果

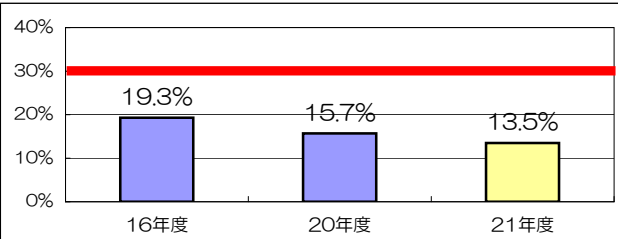
- 待機児童の解消、一時保育や病児・病後児保育などの実施施設の拡充を図るとともに企業への啓発を行いました。
- 新生児訪問指導や産後ホームヘルプによる産後うつ対策の充実を図るとともに発達障害支援事業への取り組みを行いました。
- 既存施設活用の在宅育児支援の拡充を行ったほか、家庭を見直す機会として「家族が熱い一週間」を実施しました。
- 中高生活動拠点の拡充や「命の感動体験学習」の全市的展開、大学との連携を実施しました。
- こども110番「青少年を守る店・家」及び「守る車」の拡充、「こども見守り隊」の実施、放課後子ども教室の実施、地域子育て支援センター及び子育てコーディネーターの全区設置を行いました。
- 学校園での「分かる授業」の推進や学校評価の充実を図りました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) しごとと子育ての両立支援	B	B	B	B	B
(2) 子ども・子育て家庭に対する見守りの充実	A	A	A	A	B
(3) 家庭での子育て力の向上	B	B	B	B	B
(4) 次世代の親育ち支援・子どもの自立と社会参画促進	B	A	A	B	B
(5) 子どもが安全かつ健全に育つ地域・地域環境づくり	A	B	B	B	B
(6) 特色ある教育の推進	B	B	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

地域で子どもの見守りや青少年の健全育成の手助けをしている市民の割合：目標値 30%



基本的なしつけが今の子どもに不足していると思う人の割合：目標値 50%

16年度 59.6% → 21年度 74.8%

一時保育実施施設

16年度 17箇所 → 21年度 125箇所



地域子育て支援センター主催のイベント



大学連携による子育て支援



神戸市独自開発教材を使った「分かる授業」



ユースステーション灘 中高生しゃべりばWith 神戸市長

6. 高齢者・障害者の地域安心プラン



目 標

これからの高齢社会を活力あるものにしていくために、高齢者・障害者が、元気に生きがいを持って暮らすとともに、自己の能力を発揮することのできる社会を築いていきます。また、高齢者・障害者の地域での生活を支援し、住み慣れた地域で、安全に、安心してくらししていけるまちづくりを推進します。

これまでの主な取り組み・成果

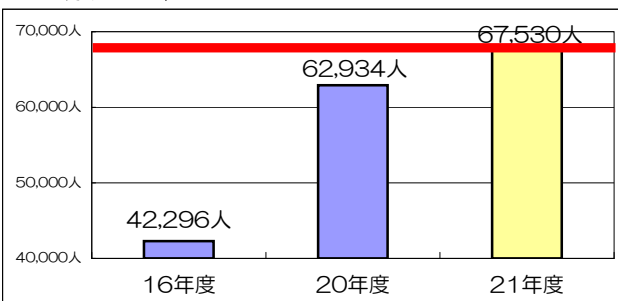
- 地域での介護予防リーダーの育成や、介護予防教室開催等の介護予防事業を積極的に実施し、市民の健康観の維持向上を推進しました。
- 障害者就労推進センターで労働・福祉・教育などの関係機関と連携した就労支援を実施しました。
- 地域福祉活動を自主的に推進するふれあいまちづくり協議会が市内全小学校区（166ヶ所）で結成されました。
- 認知症高齢者と家族に対し、早期から専門的な診断を実施し、医療・介護の両面から適切な支援を継続的に行うため、「認知症疾患医療センター」と「認知症対応強化型地域包括支援センター」を開設しました。
- 障害者地域生活支援センターを新たに開設し、障害者の相談・支援体制を充実しました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) 元気に生きがいを持って暮らせるまちづくり	A	B	B	B	B
(2) 地域で安全に安心して暮らせるまちづくり	A	B	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

市民福祉大学の地域活動者研修の受講者数（累計）
：目標値 68,000人



ハローワーク(神戸・灘・明石・西神)を通じて企業へ就職した障害者数(年間)：目標値 500人 [達成]
15年度 471人 → 20年度 728人



ふれあいまちづくり協議会の
ふれあい給食後の異世代交流



障害者の授産商品の展示・販売を行う「神戸ふれあい工房」のキャラクター「ふわぼん」



介護予防教室

7. 健康まちづくりプラン



目 標

すべての市民が健康で心豊かに生活できる活力ある社会とするため、早世の減少、健康寿命の延伸及び生活の質の向上を実現します。このため、保健事業のみならず、市政全般において健康を視点においた事業展開をするとともに、神戸医療産業都市構想での最先端の研究成果や神戸の都市としての魅力を生かし、市民や来訪者が「健康」を実感し、楽しむことのできるまちづくりをめざします。

これまでの主な取り組み・成果

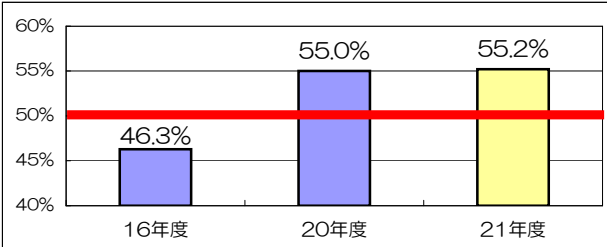
- 生活習慣病予防対策のための特定健診について、個別案内や身近な医療機関での受診を図るなど利便性を高めて実施しました。
- 感染症拡大防止対策として、地域ネットワークの充実を強化しました。
- 神戸こども初期急病センターの整備(平成22年12月開設予定)を進めました。
- 市民がスポーツに親しむきっかけづくりとなるよう、神戸総合型地域スポーツクラブの充実や各種スポーツイベントを開催しました。
- 高精度放射線治療装置など医療産業都市構想における研究・開発の成果を、先端医療技術の提供として、市民に還元する取り組みを進めました。
- 「こうべ健康ウォーク」の各区開催や、生活習慣病予防のための運動習慣の形成・継続に関する「ウォーキングサポートシステム実証事業」を実施しました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) 市民の健康づくりの促進とその基盤づくり	A	A	A	B	B
(2) スポーツクラブを軸としたスポーツの振興	B	B	B	B	B
(3) 医療・健康関連産業の活性化	A	B	B	B	B
(4) 「健康を楽しむ」まちづくりの推進	B	B	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

「日常的に運動やスポーツを行っている」人の割合
 : 目標値 50%以上 **達成**



総合型地域スポーツクラブ会員数
 : 目標値 50,000人
 16年度末 36,889人 → 21年度末 43,004人



健康ひろば



ハーフマラソン大会

8. 価値を創造する元気な産業のまちプラン



目標

市民生活の基盤となるしごと（雇用）創出のためには、神戸経済の活性化が欠かせません。神戸の強みを生かしながら、個々の力を最大化するとともに、積極的な連携を進め、そのエネルギーを結集することにより、新たな価値を創造する都市イノベーション・システムを構築し、激しく変化する環境に対応できる元気な産業のまちの実現を目指します。

これまでの主な取り組み・成果

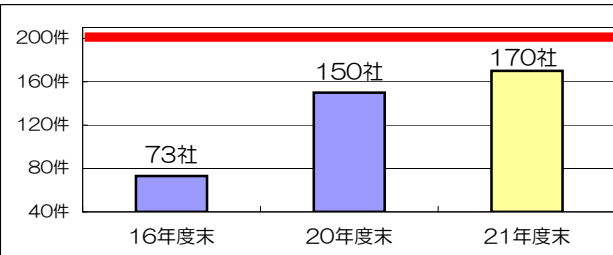
- 中小・ベンチャー起業支援策「KOBEドリームキャッチプロジェクト」は、5カ年で認定累計事業数が212件となりました。また、ものづくりクラスター支援センターでは、新規事業・新技術開発に取り組む中小企業の利用・相談実績が増加しました。
- 医療・福祉・健康関連企業の誘致は、平成21年度末までの実績が170社、外国・外資系本社121社、日中ビジネス関連で60社と着実に増加しました。
- 次世代スーパーコンピュータは、平成24年の完成・共用をめざして、市民セミナー開催などの普及啓発活動や企業ニーズ把握等の産業利用の促進など、着実に推進しました。
- 神戸港コンテナ取扱個数は、平成21年の世界経済の急激な景気後退に伴って取扱貨物量が減少しましたが、平成20年には256万TEUと目標達成しました。
- 内航フィーダー貨物は集荷促進策の推進により26万TEUと前年比で5%増加しました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) 挑戦する「人・企業」の新事業創出・経営革新支援	B	B	B	B	B
(2) 新たな活力を生み出す「人・企業」の誘致	A	A	A	A	B
(3) 都市イノベーション・システム構築に向けた先導的事業の推進	A	B	B	B	B
(4) 産業活動を支える制度や仕掛けづくり	A	A	B	B	B
(5) 産業活動を支える海・空・陸・情報の「みなと」づくり	B	B	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

神戸医療産業都市構想誘致企業数(新規創業含む)
：目標値 200社



コンテナ取扱貨物量：目標値 250万TEU以上
16年 217万TEU → 21年 225万TEU

外国・外資系企業本社数：目標値 100社 **達成**
15年度 72社 → 21年度末 121社

保有特許の中小企業などへの移転数：目標値 740件
16年度末 284件 → 21年度末 532件



中小・ベンチャー
企業支援策



次世代スーパーコンピュータ『京』



企業進出が進む医療産業都市

9. 観光交流都市推進プラン



目 標

観光振興の持つ地域創造力を活かし、経済や雇用への波及効果を狙うとともに、まちの美化、市民のわがまちを愛する心の醸成など、観光を通じた総合的なまちづくりを推進し、魅力ある観光交流都市を創造します。

これまでの主な取り組み・成果

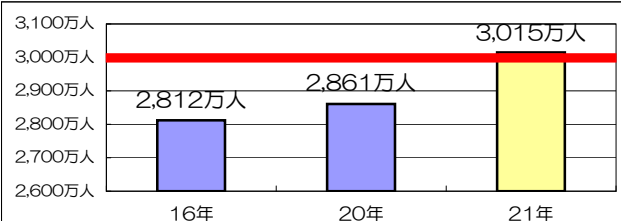
- 観光入込客数が、策定値の2,812万人から右肩上がりに増加し、目標値である3,000万人を達成しました。
- 神戸らしい魅力ある観光資源を創出するため、デザイン都市にふさわしいウォーターフロントの景観形成の取り組みを開始しました。また、鉄人28号のモニュメントや三国志を活用したまちづくりを推進しました。
- 取材費助成などの新たなインセンティブを創設し、マスメディアを活用した情報発信を展開するとともに、ホームページや口コミ、各種イベントを通じた取り組みなど、神戸の魅力の発信の充実を図りました。
- 神戸空港の開港などの効果による遠距離旅行者の増加と、宿泊率に関し策定値の24%から目標値の30%程度まで上昇しました。
- 市内大手ホテルが中心となる「神戸コンベンション誘致協議会」の設置や医療系の学会の立地などにより、コンベンション開催件数の目標である200件を達成しました。
- 無料で車いすの貸出しを行う「KOBEどこでも車いす」を全国初で運用開始するなどユニバーサル観光を推進しました。
- ボランティアガイドの案内数が策定値86,113人から、実績で162,756人へと倍増しました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) オンリーワンを目指した展開	A	B	B	B	B
(2) 神戸の魅力の発信	A	B	B	B	B
(3) 滞在型観光の振興	B	A	A	A	B
(4) 東アジアに重点をおいた国際観光への取り組み	B	A	B	B	B
(5) Welcome to KOBE 「神戸観光おもてなし戦略」	A	A	A	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

観光入込客数：目標値 3,000万人 達成



海外から神戸への外国人旅行者：目標値 50万人
16年 36万人 → 21年 44.1万人

宿泊率：目標値30%
16年度 24% → 21年度 29.2%

コンベンション開催件数：目標値 200件 達成
15年 168件 → 20年 216件

ボランティアガイドの案内数：目標値 20万人
16年 86,113人 → 21年 162,756人



「行こう!神戸」キャンペーン



神戸スウィング・オブ・ライツ

10. 新たな地域情報化プラン



目標

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークにつながることにより、さまざまなサービスが提供され、人々の生活をより豊かにする「ユビキタスネット社会」の実現に向けて、飛躍的な進歩を見せるICT(情報通信技術)を利活用し、利便性の高い市民サービスを提供することによって、より豊かで快適な市民生活の実現とともに、活力ある神戸経済と効率的な行政運営をめざします。

これまでの主な取り組み・成果

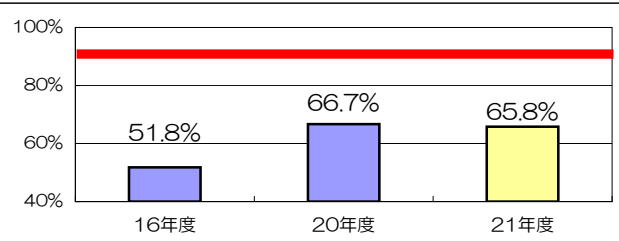
- 新型インフルエンザの流行状況の変化を迅速に把握して、早期対応を可能とするシステムを整備したほか、緊急性のある消費生活情報を迅速かつ一斉に大量提供可能な「消費者あんしんメール」を運用するなど、ICTを使った安全や安心を守る取り組みを促進しました。
- 14年間の「アニメーション神戸」の成果として西日本最大級のアニメーション制作スタジオ「アニタス神戸」が設立されたほか、設立に伴うアニメータ等若年就業者の雇用が創出されました。
- 市役所内でICT利用を組織的に統制し、ICTを戦略的に活用する「ICTガバナンス」を導入し、内部事務システムの効率化をすすめました。また、適切なソフトウェア資産管理により、関係団体から全国初の「SAM(ソフトウェア・アセット・マネジメント)モデル自治体」として認定されました。

重点事業の柱ごとの評価状況

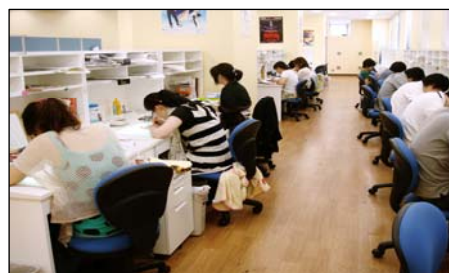
	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) ICTを生かした豊かで快適な市民生活の実現	A	B	B	B	B
(2) ICTを生かした神戸経済の活性化	A	B	B	B	C
(3) 電子市役所の実現	B	B	B	B	B
(4) 地域情報化推進のための環境整備	A	B	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

インターネットの市民普及率：目標値 90%



市役所への電子申請可能な手続数：目標値 160手続
16年度末 13手続 → 21年度末 61手続



アニタス神戸



「アニメーション神戸 オリジナル・アニメーション部門」最優秀賞受賞者による「神戸PRアニメーション」の制作

1.1. 環境共生都市推進プラン



目標

恵まれた環境を将来に継承していくために、地球温暖化防止や廃棄物の発生抑制などに取り組むとともに、緑地、農地、市街地で構成される空間を市民との協働と参画により総合的にマネジメントすることによって、自然と共生し、環境への負荷の少ない持続可能な「環境共生都市」をめざします。

これまでの主な取り組み・成果

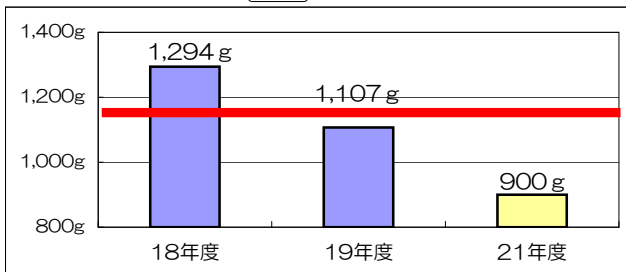
- 「家庭系ごみの指定袋制度」、「大型ごみの申告有料収集」を全市に導入し、北区では「容器包装プラスチックの分別収集」を先行実施した結果、家庭系ごみの排出量が、平成19年度に比べて23.7%減少（約▲10.2万t）しました。
- 温室効果ガスの排出抑制に向けて、兵庫県下の自治体で初めて電気自動車を1台導入するとともに、電気自動車用急速充電器を市内2箇所に設置しました。
- 「こうべバイオガス」を都市ガスと同等レベルまで高度精製し、都市ガスの導管へ注入する実証事業の取り組みを開始しました。
- モビリティ・マネジメント(*)の継続的な取り組みや、エコファミリー制度の全国初の本格実施などが評価され、第1回E S T交通環境大賞を受賞しました。
(*)アンケートや情報提供等を通じ、自発的に環境にやさしい交通行動に転換してもらう一連の取り組み
- 地域自らが良好な住環境を守る「ルールづくり」の取り組みを支援し、「まちづくりに係るルールを決めている地区」が4地区増加した結果、目標を達成しました。

重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) 循環型社会に向けた仕組みづくり	A	B	C	C	C
(2) 魅力ある緑地、農地を生かした展開	B	B	B	B	B
(3) 地域マネジメントのさらなる推進	A	B	B	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

市民一人1日あたりごみ処理量
 : 目標値 1,169g **達成**



市民一人あたりの二酸化炭素年間排出量: 目標値 3.42 t
 14年度 3.83 t → 20年度 3.60 t

市民主体で維持管理する身近な公園の割合
 : 目標値 75% **達成**
 16年度 69% → 21年度 76%

まちづくりに係るルールを決めている地区数
 : 目標値 230地区 **達成**
 16年度 195地区 → 21年度 233地区



ふれあいごみスクール



電気自動車と急速充電器

12. 神戸を先導する都心ゾーン形成プラン



目 標

「都心・ウォーターフロント」「海上都市」「神戸空港」からなる地域において、海・空・陸の広域交流拠点としての中核的ゲート機能や、海辺の生活スタイルを体感できる「みなと」を活かしながら、働き、学び、楽しみ、さらには住む人々を増やすことにより、人・物・情報が交流・融合する都心ゾーンを形成し、神戸全体の発展を先導します。

これまでの主な取り組み・成果

- ウォーターフロントにおいて、震災の経験と教訓を継承し、市民との協働によりつくり続ける公園として整備を進めた「神戸震災復興記念公園(愛称:みなとのもり公園)」が平成22年1月17日に開園しました。
- 積極的な客船誘致活動を進めた結果、平成21年度には100隻の客船が神戸港に入港しました。
- 市道臨港線(JR灘駅前~HAT神戸)の完成、歩行者系案内サインの拡充や明石町筋の歩道拡幅工事の推進など、ウォーターフロントへの誘導にかかる整備を推進しました。
- 都心・ウォーターフロントの将来構想(グランドデザイン)に向けて、有識者からなる研究会から提言「『港都 神戸』の創生」が提出されました。
- 「(仮称)デザイン・クリエイティブセンターKOBÉ」の今後の活用の方向性について、学識経験者などからなる検討委員会から提言が提出されました。
- 阪神三宮駅の改良と中央幹線を横断する地下通路やデッキの整備を推進しました。
- 神戸スウィング・オブ・ライツや、神戸ビエンナーレ2009など、市民・事業者との協働によるウォーターフロントのにぎわいの創出を図りました。
- 医療関係企業170社(平成21年度末現在)が進出したほか、多数のコンベンションが開催されました。

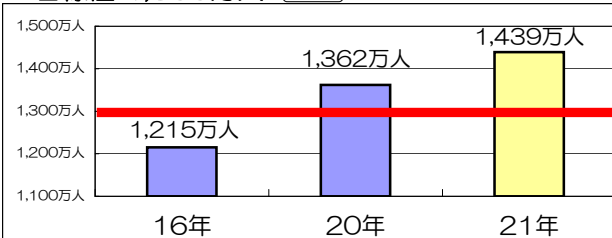
重点事業の柱ごとの評価状況

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
(1) みなとを活かした展開	B	B	B	A	B
(2) 誘(いざな)う仕掛けづくり	A	A	A	B	C
(3) 都心ウォーターフロント・海上都市・神戸空港の相乗効果を生かした取り組みの促進	A	A	A	A	B
(4) 協働と参画による都心活性化	A	A	A	B	B

主な指標データの状況(チャレンジ指標)

観光入込客数(市街地+神戸港観光群)

：目標値 1,300万人 **達成**



都心各駅の利用者数(各鉄道会社計)

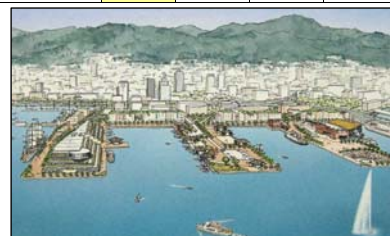
：目標値 40,000万人

15年度 37,007万人 → 20年度 39,153万人

広域交通機関(新神戸駅・神戸港・神戸空港)の利用者数

：目標値 1,100万人

15年度 676万人 → 20年度 1,008万人



新港突堤西地区の突堤部の将来イメージ
〔提言「『港都 神戸』の創生」より〕



旧神戸生糸検査所(新館)
〔(仮称)デザイン・クリエイティブセンターKOBÉ〕

■「豊かさ創造都市こうべ」の全体的な指標の状況

神戸2010ビジョンでは、多様で質的な側面を含み、数量で把握することは難しい“神戸らしい豊かさ”についても、市民とともにビジョンを共有していく観点から、「豊かさ創造都市こうべ」をよりわかりやすく示し、その状況を具体的に把握する全体的な指標（ものさし）として、

①福祉、環境、文化などの分野からなる市民の暮らし全般を示す「暮らしの満足度」

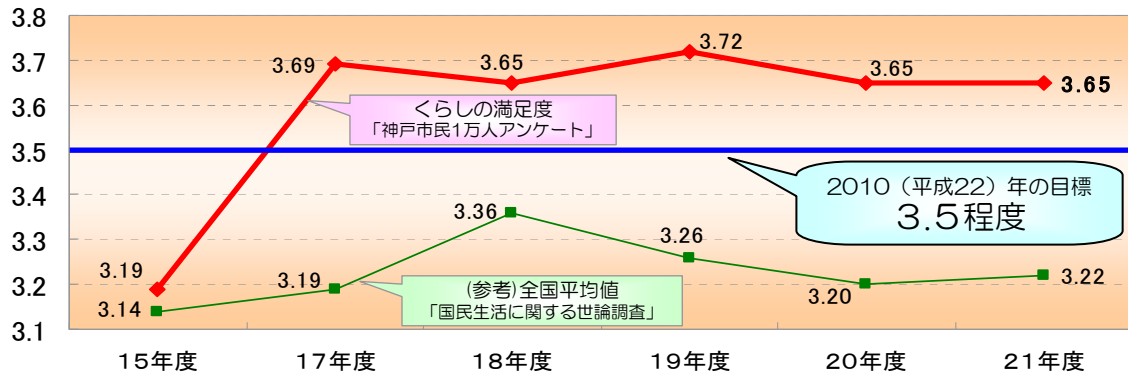
②市民の暮らしを支える都市活力を全体的に示す「一人あたり市民所得」

の2つを設けるとともに、2010年に向けて民・学・産と行政が協働してともにめざす目標値を掲げています。

①暮らしの満足度

「暮らしの満足度」については、策定当時(平成15年度)の「3.19」から2010(平成22)年に「3.5程度」に1割アップさせることを目標とされました。

最新値(平成21年度)では、「3.65」となっており、5年連続で目標を達成しています。



②一人あたり市民所得

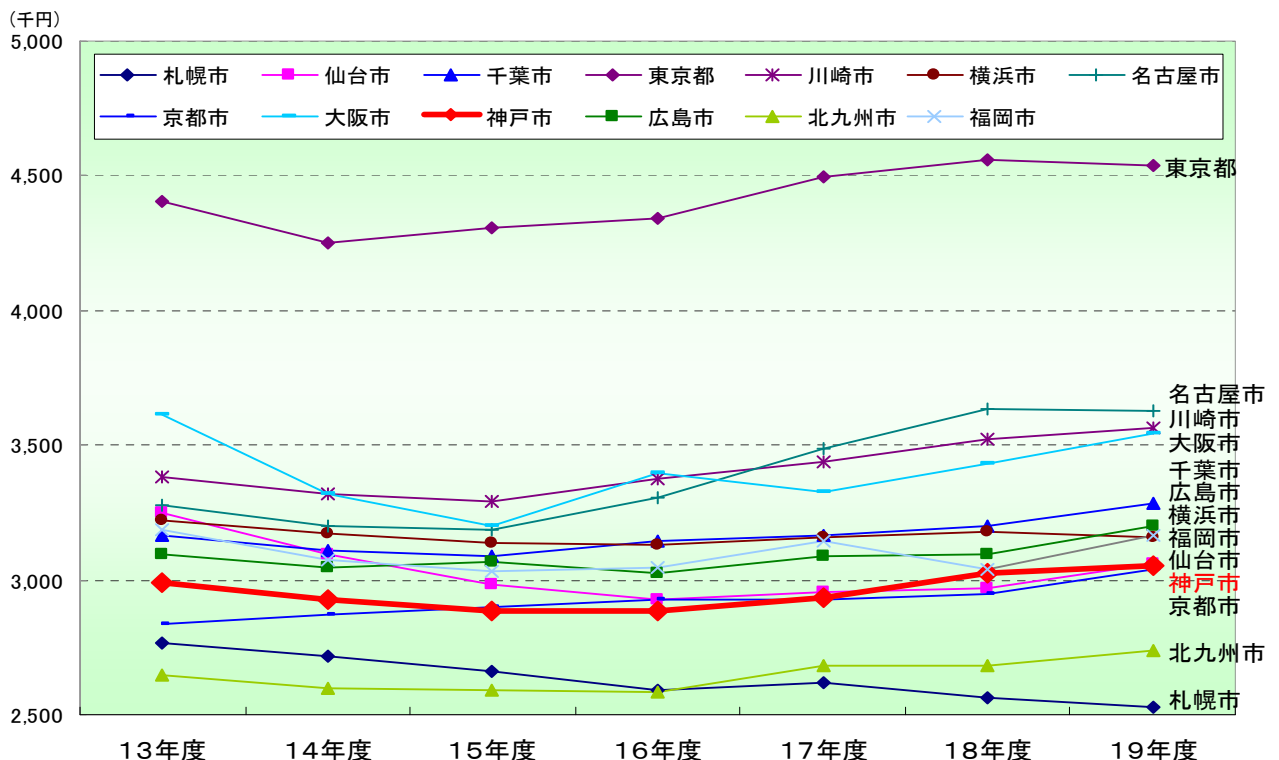
「市民所得」は、市民の個人所得（給料など）のみを指すものではなく、企業の所得などを含む、神戸の都市としての経済力を総合的に示す指標です。

「一人あたり市民所得」は、この「市民所得」を全市の人口で割ったものです。

この「一人あたり市民所得」については、策定当時（平成13年度）の「下位」から2010(平成22)年に13大都市中の「中位」（5-9位）の水準をめざすことを目標とされました。

最新値(平成19年度)では13大都市の中で10位となっていますが、平成15年度より増加に転じ、その後は堅調に増加しています。

また、神戸2010ビジョンの後半の取り組みにより、さらなる増加も期待できる状況にあることから、数値そのものは概ね順調に推移していると言えます。



■ 神戸2010ビジョンの目標達成見込と今後の課題

平成17年度以来、5年超にわたって市民のみなさんとともに取り組みを進めてきた神戸2010ビジョンは、平成22年度をもって計画期間を終えます。

そこで、神戸2010ビジョンで得られた成果や課題を計画終了後も生かしていくために、現時点でこれまで取り組んできた内容をふりかえるとともに、目標達成の見込みを行い、今後の課題を抽出しました。

(目標達成見込)

□ 平成21年度検証・評価結果では、全49施策のうち6割以上がA評価（目標達成に向けて順調）となっており、C評価（目標達成に向けてあまり順調に推移していない）はゼロとなっています。（2ページ参照）

平成22年度末の目標達成見込みについても検証・評価を実施した結果、神戸2010ビジョンの総仕上げに向けた取り組みにより、さらなる評価向上が見込まれています。

□ 「豊かさ創造都市こうべ」の全体的な指標である「くらしの満足度」および「一人あたり市民所得」についても概ね順調に推移しています。（16ページ参照）

□ 市民のみなさんの協働と参画による取り組みは、着実に実を結んでいます。（3ページ参照）

また、神戸2010ビジョンの計画策定に携わった市民・実践者や学識経験者等をメンバーとする「新たなビジョン推進会議」が設置されており、協働と参画による先進的な実践事例として、神戸2010ビジョンの実現に資する活動をメンバー自らで主体的に取り組まれています。

これらのことから、平成17年6月より市民の皆さんとともに取り組んできた神戸2010ビジョンは、概ね達成される見込みと総括できます。

しかしながら、残された課題があることや新たな課題も出てきていることから、12のアクションプランごとに今後取り組んでいくべき課題を下記のとおり抽出のうえ、整理しています。

これらの課題については、神戸2010ビジョンの終了後も、協働と参画を一層進めながら、着実に対応していくことが必要となっています。

12のアクションプランごとの今後の課題

1. 協働と参画による地域力強化プラン

- ・地域活動支援制度の充実
- ・新たな地域づくりの担い手（社会的企業）の育成
- ・パートナーシップ協定締結の推進
- ・地域担当制の充実、強化

2. ユニバーサル社会実現プラン

- ・ユニバーサルデザイン（UD）のさらなる意識づくり
- ・民間事業者のUDへの取り組みに関する普及啓発
- ・市の事業等のUDの取り組みレベルの向上
- ・UDに取り組む主体が広く評価されるための支援

3. 文化創生都市推進プラン

- ・市民が多様な文化に触れる機会の確保
- ・新たなクリエイティブな人材の育成と定着
- ・市民が文化芸術活動を支える仕組みの拡充
- ・「デザイン都市・神戸」の推進など、神戸らしい都市ブランドのさらなる創造・発信

4. 減災・防犯から始まる安全都市推進プラン

- ・危機対応の実効性を高める訓練の実施
- ・地域の防災防犯活動の継続と市民参加の促進
- ・すまいの耐震化にかかる市民の意識啓発
- ・震災の経験や教訓の継承・発信の継続

5. 子どもが健やかに生まれ、育つまちプラン

- ・「命の大切さ」や「倫理観」などを子どもたちに伝えるための方法の検討と実践
- ・待機児童の解消、学童保育の充実
- ・妊娠・出産・育児期における母子保健の充実
- ・児童虐待防止対策の充実
- ・家庭での子育て力・教育力の向上、地域での子育て支援事業の充実
- ・児童生徒の学力の向上

6. 高齢者・障害者の地域安心プラン

- ・協働による介護予防の取り組みの促進
- ・高齢者の生活ニーズに応じた身近なサービスの提供
- ・高齢者、障害者の社会参加の促進
- ・障害者の相談・支援体制の充実、障害者の一般就労の推進
- ・権利擁護制度の充実、市民後見人の養成

7. 健康まちづくりプラン

- ・特定検診、がん検診の受診率の向上
- ・ひょうご・神戸マラソン（仮称）をはじめとするスポーツイベントの開催
- ・再生医療などの成果を先端医療技術として市民に提供
- ・都市型コホート研究^(*)など市民の科学的な健康づくりの支援

(*)特定の因子に暴露した集団と暴露していない集団について、研究対象となる疾患への罹患率を調査し比較することで因子と疾患の関連性を検討する研究方法

8. 価値を創造する元気な産業のまちプラン

- ・挑戦する企業への支援強化
- ・高度専門医療機関の集積
- ・グローバル経済の中での中小企業活性化
- ・国際コンテナ戦略港湾としての機能強化と神戸空港の利便性向上

9. 観光交流都市推進プラン

- ・外国人観光客にも集客効果があるオンリーワン観光資源の創造とPR
- ・MICE^(*)誘致など地域経済への波及効果が高い取り組みの実施

(*) 企業などの会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行、Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、イベント、展示会・見本市（Event/Exhibition）の頭文字をとったもので、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称をいう。

10. 新たな地域情報化プラン

- ・ICTの利用・活用によるワーク・ライフ・バランスなど社会的課題の解決
- ・神戸発のアニメーション制作及び発信
- ・ICTガバナンスの確立による簡素で効率的な行政の実現
- ・ネットいじめ等ICTのマイナス面に対する市民、教育機関、事業者との連携した対応

11. 環境共生都市推進プラン

- ・CO₂排出量の削減へのさらなる取り組み
- ・ごみの減量・資源化のさらなる推進
- ・生物多様性保全の取り組みの推進
- ・農村環境の向上と地域農業の活性化
- ・六甲山等の森林の保全
- ・多様化する地域課題に対応する地域マネジメントの推進


12. 神戸を先導する都心ゾーン形成プラン

- ・ウォーターフロントでの民間活力を活かした土地利用転換などの推進
- ・都心とウォーターフロントの回遊性向上
- ・三宮駅の機能性・シンボル性の向上
- ・市民、事業者などとの協働と参画による都心の魅力づくり

2010 神戸 ビジョン

検証・評価の詳細は、ホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/vision/index.html>

神戸市企画調整局企画調整部総合計画課
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
TEL:078-322-5030 E-mail:sokei@office.city.kobe.lg.jp
神戸市広報印刷物登録 平成22年度第190号（広報印刷物規格A-1類）

リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。


古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

この製品は、古紙パルプ70%の再生紙を使用しています。
このマークは、3R活動推進フォーラムが定めた表示方法に
則って自主的に表示しています。